

エコアクション21

環境経営レポート

2023 年度 運用版

(運用期間：2023 年 10 月～2024 年 9 月)



【第 2 版】

発行日：2024 年 10 月 30 日



株式会社 安武建設工業

私たちは、地域と
地球の環境に配慮した
事業者です



エコアクション21[®]
認証番号 0014127

目 次

1. 事業の概要	1
2. EA21 推進体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営活動	5
6. 環境経営目標の実績・評価と今後の取り組み	6
7. 具体的な取組状況	7~9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	11

1. 事業の概要

(1) 事業者名

株式会社 安武建設工業
代表取締役 安武修治

(2) 所在地

本社 〒869-1208 熊本県菊池市旭志 668 番地
資材置場 〒869-1201 熊本県菊池市旭志弁利字西八迫 565-1 番地

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者
連絡担当者
連絡先 TEL0968-37-2220 fax0968-37-3740

(4) 事業規模

資本金 金 2000 万円
社員数 17 人(内役員 3 人)
売上高 258.513 千円(3 年平均、令和 6 年 1 月経審結果)

(5) 事業内容

特定建設業 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

許可番号 熊本県知事許可(特一 2)第 5616 号

一般建設業 建築工事

許可番号 熊本県知事許可(特一 2)第 5616 号

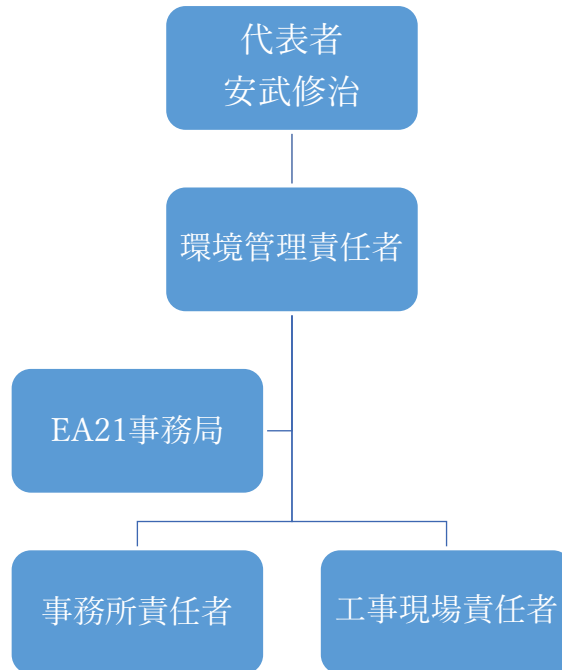
(6) 会計年度

期首 10 月 期末 9 月

(7) 認証登録範囲

株式会社安武建設工業の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

2. EA21 推進体制



代表者	・ 環境経営方針の制定 ・ 環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・ 全体の評価と見直し
環境管理責任者	・ マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・ 目標管理票の作成と進捗管理 ・ 目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・ 環境コミュニケーションの総括窓口 ・ 教育・訓練の総括（緊急事態の想定、訓練含む）
EA21事務局	・ 集計表作成 ・ 文書、記録作成 ・ 環境経営活動進捗の把握
事務所責任者 工事現場責任者	・ 環境経営活動の実施 ・ 環境管理責任者への報告 ・ 改善提案
社員	・ 環境経営活動の実施 ・ 改善提案

3. 環境経営方針

環境経営理念・方針

株式会社安武建設工業は、建設業に関わる事業者として土木を通じて社会貢献すると共に、積極的に環境負荷の低減と環境保全に取り組み、豊かな自然を守り維持できるよう次項の活動に取り組み、環境経営の継続的な改善に努めます。

- (1) 環境に配慮した施工の推進に取り組みます。
- (2) 省エネルギーを心掛け、CO2 排出量の削減に取り組みます。
- (3) 廃棄物発生抑制の抑制に取り組み、建設リサイクル法に従い適切なリサイクルに取り組みます。
- (4) 節水により、使用量の削減に取り組みます。
- (5) グリーン購入を促進します。
- (6) 地域貢献活動を積極的に行います。
- (7) 環境関連法規制等を遵守します。
- (8) 受注工事の品質向上に努めます。

全社員に、この環境経営理念を周知し、全社員で取り組みます。

令和5年6月30日

株式会社 安武建設工業
代表取締役 安武修治

4. 環境経営目標

実施期間 2023 年 10 月～2024 年 9 月

会計年度 期首：10 月 期末：9 月

		2022年度	2023年度の目標・実績		2024年度	2025年度	2026年度
番号	項目	実績 (2022.10~2023.9)	2023 年度実績 (2023.10~2024.9)	環境目標 (-1%) (2023.10~2024.9)	環境目標 (-2%)	環境目標 (-3%)	環境目標 (-4%)
1	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工
2	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	63,087.58	107,908.88	62,456.70	61,825.82	61,194.95	60,564.07
2-1	電気使用量の削減 (kWh)	12,045.00	12,444.00	11,924.55	11,804.1	11,683.65	11,563.2
2-2	ガソリン使用量の削減 (L)	5,020.24	3,963.17	4,970.03	4,919.83	4,869.63	4,819.43
2-3	軽油使用量の削減 (L)	18,154.82	36,418.88	17,973.27	17,791.72	17,610.17	17,428.62
3-1	一般廃棄物のリサイクル推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進
3-2	産業廃棄物のリサイクル推進	廃棄物の再資源化 95%	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上
4	水使用量の削減	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進
5	グリーン購入	不明	配慮する	配慮する	配慮する	配慮する	配慮する
6	地域貢献	3 回以上／年	3 回以上／年	3 回以上／年	3 回以上／年	3 回以上／年	3 回以上／年
7	工事の品質向上 (平均点)	75 点	78 点	80 点以上	80 点以上	80 点以上	80 点以上

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.382 kg-CO2/kWh (九州電力(株)R3 年度調整後)を使用した。

- ・水使用量については、井水利用でメーターがないため、節水活動を推進する。
- ・化学物質の使用なし。

5. 環境経営活動

項 目	具 体 的 な 活 動	頻 度	実 施 状 況	
			事務所	現場
1. 環境に配慮した施工	①超低騒音の重機使用	適時	—	○
	②粉塵の少ない施工	適時	—	○
	③再生材料の活用	適時	—	○
	④生物多様性に配慮した施工	適時	—	○
2. 二酸化炭素排出量の削減 (2-1) 電気使用量の削減	①空調機の室内温度設定・実施の徹底(温度計による室温の管理)	毎日	○	—
	②空調機フィルターの定期的清掃(6月・12月)	年2回	○	—
	③日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日	○	—
	④省エネ型空調機、照明器具に買い換える	適時	○	—
	⑤グリーンカーテンの設置	適時	○	—
(2-2) ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進、急ブレーキをさける)	毎日	○	○
	②低燃費車を増やす	適時	○	○
(2-3) 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進、急ブレーキをさける)	毎日	○	○
	②社用車の定期的な整備による燃費向上	適時	○	○
3. 廃棄物 (一廃、産廃)の リサイクル化推進	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
	⑤社内文書は裏紙を使用する	毎日	○	—
4. 節水活動の推進	地下水使用。メーター未設置の為節水に努めます。 現場は川の水使用。	適時	○	○
5. グリーン購入	①環境への負荷が少ない製品の購入	適時	○	—
6. 地 域 貢 献	①地域清掃の実施	年3回以上	○	○
7. 工事の品質向上	①行程手順と天候を確認し効率的な段取りを行い工期を遵守する	適時	—	○
	②評価点結果を分析し、弱点領域を強化する	適時	—	○
	③工程毎の書類・写真管理を徹底する	適時	—	○
	④発注担当者との情報共有・コミュニケーションを積極的に行う	適時	—	○

6. 環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容

項 目	2022 年度実績 (2022. 10~2023. 9)	2023 年度目標 (2023. 10~2024. 9) (-1%)	2023 年度実績 (2023. 10~2024. 9)	目標 達成率 (%) ※ 2	判 定	評価と今後の取組み
1 環境に配慮した 施工	環境に配慮した 施工	環境に配慮した 施工	環境に配慮した 施工	—	○	<現状>取り組んでいる。 <今後>引き続き継続する。
2 二酸化炭素排出 量の削減(kg-CO2)	63,087.58	62,456.70	107,908.88	58%	×	<現状>ガソリン使用量は目標達成、その他の項目は未達成であった。特に重機使用が増大したことが原因で軽油は大幅に目標未達成であった。特に軽油は達成率が49%で、CO2 排出量の未達成の要因である。原因は閑散期に太陽光の下請工事を受託し、重機を多く使用する工事であった。よって予定外の使用量になった。重油は使用したが閑散期に工事が受注できたことは経営的には良かった。 <今後>燃料は経費圧迫の要因にもなるので、無駄だけはしないようにしていく。引き続き社員が意識して、全て達成出来るように取り組んでいく。
2-1 電気使用料 の削減(kWh)※ 1	12,045.00	11,924.55	12,444.00	96%	△	
2-2 ガソリン使用 量の削減(L)	5,020.24	4,970.03	3,963.17	125%	○	
2-3 軽油使用料の 削減(L)	18,154.82	17,973.27	36,418.88	49%	×	
3-1 一般廃棄物の リサイクル推進	分別活動の 推進	分別活動の 推進	分別活動の 推進	—	○	<現状>実施できた。 産廃置場の種類別表示を実施したことにより、社員の意識も定着化している。一般廃棄物も産業廃棄物も分別が徹底できた。 <今後>今後も引き続き、分別活動を徹底して取り組んでいく。
3-2 産業廃棄物の リサイクル化推進	廃棄物の再資化 95%	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資化 100%	105%	○	
4 節水活動の推進	節水活動の 推進	節水活動の 推進	節水活動の 推進	—	○	<現状>節水活動と日常の漏水の点検に努めた。 社員の意識が向上した。 <今後>引き継ぎ継続する。
5 グリーン購入	—	配慮する	配慮した	—	○	<現状>取り組んでいる。 地球温暖化にも配慮できた。 <今後>引き継ぎ継続する。
6 地域貢献	3 回以上／ 年	3 回以上／ 年	3 回以上／ 年	100%	○	<現状>実施できた。 地域に貢献できた。 <今後>引き継ぎ継続する。
7 工事の品質向上 (平均点)	75 点	80 点以上	78 点	98%	△	<現状>達成出来なかった。 社員の頑張りは評価できる。 <今後>目標達成に向けて努力していく。

備考) ※ 1 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.382 kg-CO2/kWh(九州電力(株)R3 年度調整後)を使用した

※ 2 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

※ 3 目標達成状況判定基準

○: 100%以上 △: 80%以上-100%未満 ×: 80%未満(是正処置の対象)

7. 具体的な取組状況

二酸化炭素排出量の削減・・ 設定温度(冷房 28℃暖房 20℃)・節電ステッカー・省エネエアコン設置



裏紙使用の促進



ペーパーカッター (A3→A4)



裏紙のストック



コピー機の裏紙設定

簾の設置



水使用量の削減・・

節水ステッカー

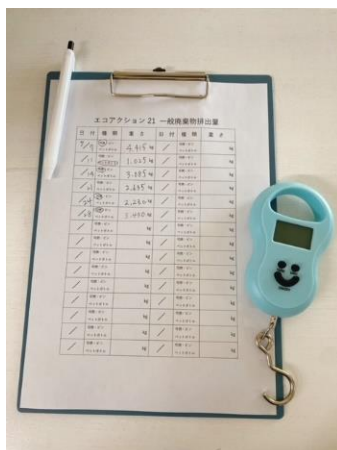


分別活動の推進・・ 燃えるゴミ・ビン缶・プラスチック・埋立ゴミ・ペットボトル分別



一般ゴミの計量測定

環境上の緊急事態の想定及び訓練
＜建設重機等の転倒時の対応訓練＞



社会貢献活動の推進・・

地域のボランティア活動を積極的に実施



エコアクションへの取り組みの掲示



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下の通りです。

- ・環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。
- ・環境法規制の遵守活動を通して、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。
- ・地域住民からの環境上の苦情や要望もありませんでした。

遵守評価日：2024年10月5日

適用される法規等	適用される事項(施設・物資・活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理、 マニフェスト発行状況報告	○
建設リサイクル法	一定規模以上建築4品目の分別解体と再資源化	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○
フロン排出抑制法	廃棄時の適正処理(発生時のみ) 自主点検の実施(3か月に1回)	○
浄化槽法	設置の届け出 定期的な点検、清掃の実施、法定点検の実施	○

備考) 評価区分 ○：遵守 ×：不遵守 ー：該当なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21活動の対象期間(2023年10月～2024年9月)について代表者による全体評価と見直しを2024年10月20日に実施しました。

総評(代表者)

エコアクション21に取り組んで、年間統計を取り目標を立て頑張りましたが、未達成の項目もありなかなか達成出来ない項目もあるようです。ただ、全体を見てみると、エコアクション21を実施して環境対策を考える事になり、会社全体の意識向上に繋がり整理整頓が出来るようになってきています。

今後も環境対策に努め、前年度達成できなかった項目を見直し、環境保全に力を入れ、次年度も環境負荷を減らす様に取り組む目標達成に励みたいと思います。

又、化石燃料の使用量が前年度よりも工事箇所が増加したことにより、目標の半分以上が未達成となっている為、エコアクション21を取得する目標を立てる場合に今後、考慮するべき点が無いか吟味する必要があると感じました。継続して取得していく事が環境対策に繋がるのであれば毎年挑戦したいと思っております

変更の必要性和指示(代表者)

	変更の必要性 (有、無)	指示事項
環境経営システム	無	社内全体で周知し引き続き取り組む
環境経営方針	無	環境経営方針を周知させ、継続する
環境経営目標及び環境経営計画	無	全て達成出来るよう引き続き取り組む
実施体制	無	現状のまま継続する
その他		